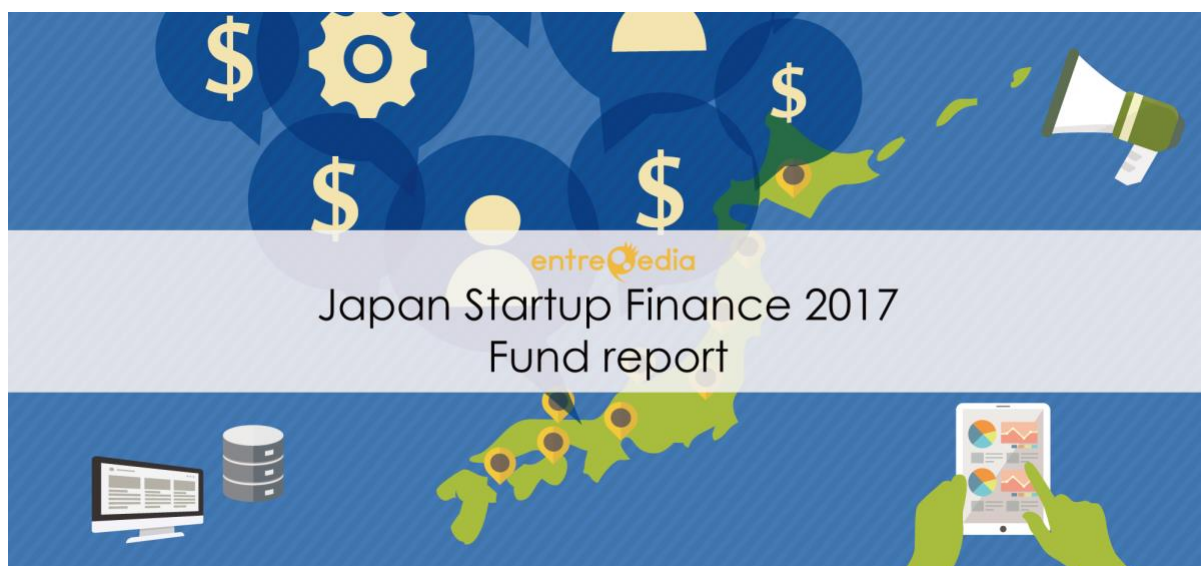


2018年5月1日
株式会社ジャパンベンチャーリサーチ
株式会社ユーザベース

2017年はSeed・Early期向けのベンチャーファンドが増加。
国内344本の動向をまとめた『Japan Startup Finance 2017 Fund report』を公開
(by entrepedia)



株式会社ユーザベースのグループ会社である株式会社ジャパンベンチャーリサーチ（本社：東京都渋谷区、代表取締役：佐久間衡）は、日本最大級のスタートアップデータベース「entrepedia」において、2017年に組成された国内ベンチャーファンド344本の情報を網羅的にまとめた『Japan Startup Finance 2017 Fund report』をリリースしました。

レポートは以下のURLから無料でダウンロードいただけます。

詳細レポートページ

<https://entrepedia.jp/pages/jsf2017>

日本最大級のスタートアップデータベースであるentrepediaは、国内スタートアップの資金調達情報を網羅的にまとめた『Japan Startup Finance 2017』（<https://www.uzabase.com/company/news/japan-startup-finance-2017/>）を今年3月にリリースしました。

今回、ベンチャーファンドを対象に数値ファクトをまとめた本レポートを公開することで、スタートアップ投資における投資家と起業家の情報の非対称性を解消していきたいと考えています。

entrepediaは「挑戦する勇気と機会を生み出すプラットフォームをつくる」というミッションを実現するために、今後もデータからの発見をスタートアップ関係者の皆さまに向けて発信してまいります。

『Japan Startup Finance 2017 Fund report』 概要

国内ベンチャーファンドの傾向は、2013年から特に金額が増加しており、国内スタートアップの資金調達額が大型化してきていることが伺えます。

2017年は、独立系VCおよび大学系VCによる超大型ファンド組成が多数あった2016年と比較すると、本数は微減、ファンド総額も減少しました。ファンド組成数は2015年と同水準、ファンド総額は2014年と同水準でした。

なかでもIT関連×バイオ・医療・ヘルスケア業種を、投資フェーズとしてはSeed・Early期のスタートアップへの投資を重点と位置付けるファンドの設立が増加していました。

<目次>

1. ファンド動向概要

- ・ 設立ファンド総額と本数
- ・ 設立1ファンドあたりの傾向
- ・ 規模別設立ファンド数
- ・ 2017年設立ファンド、LP一覧
- ・ 政府系2社のLPとしての動向

2. 選好別によるファンドの傾向

- ・ IT関連の設立ファンド総額と本数、傾向
- ・ IT関連特化型の設立ファンド総額と本数、傾向
- ・ バイオ・医療・ヘルスケアの設立ファンド総額と本数、傾向
- ・ CleanTech、エネルギー関連の設立ファンド総額と本数、傾向
- ・ Seed、Earlyの設立ファンド総額と本数
- ・ 2017年設立のSeed、Earlyのファンド一覧

3. ファンド組成VC・LPの動向

- ・ VC種別設立ファンド数と金額

4. 事業会社系の動向

- ・ CVCの設立数、2017年設立のCVC一覧
- ・ CVCの設立ファンド総額と本数
- ・ 2017年設立の事業会社系ファンド一覧

会社概要

社名： 株式会社ジャパンベンチャーリサーチ / Japan Venture Research Co., LTD.

設立： 2011年4月5日

代表者： 代表取締役 佐久間 衡

所在地： 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-18-14 恵比寿ファーストスクエア10F

会社 HP： <http://www.jvr.jp/>

社名：株式会社ユーザベース / Uzabase, Inc.

設立：2008年4月1日

代表者:代表取締役社長（共同経営者）：稲垣裕介 / 梅田優祐

証券コード：3966（東証マザーズ）

1,328百万円（2017年12月末時点）

所在地：〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-18-14 恵比寿ファーストスクエア 10F

会社HP：<http://www.uzabase.com/>

お問い合わせ先：株式会社ジャパンベンチャーリサーチ

<http://jvr.jp/contact/>